



成長可能性に関する説明資料

株式会社 LITALICO

[証券コード : 6187]



1. 会社概要	3 p
2. 事業概要	6 p
3. 今後の方針	18 p

1. 会社概要

about company

会社名	株式会社 LITALICO
所在地	東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒G Tタワー 15F
設立日	2005年12月26日
資本金	76,125,000円
従業員数	1,312名 ※アルバイト等含む (2015年12月時点)



世界を変え、社員を幸せに

「LITALICO」(利他利己)は日本語の利他と利己を組み合わせた造語です。これは当社の創業から変わらない価値観であり、当社の理念「世界を変え(利他)」「社員を幸せに(利己)」の両方を実現するという意思から生まれたものです。



代表取締役社長 長谷川 敦弥

名古屋大学卒
2008年5月、当社に新卒として入社。
2009年8月に代表取締役社長に就任。



取締役 坂本 祥二

京都大学卒
現三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、カーライル・ジャパン・エルエルシーを経て2015年3月に当社入社。同年10月に取締役に就任。



取締役 中俣 博之

筑波大学卒
株式会社ディー・エヌ・エーに入社し、ゲーム開発の部長職などを歴任。2014年7月に当社入社。同年10月に取締役に就任。



取締役 土田 扶門

一橋大学卒
一部上場建設機械メーカー、一部上場通信キャリア等を経て2011年1月に当社入社。2011年3月に取締役に就任。



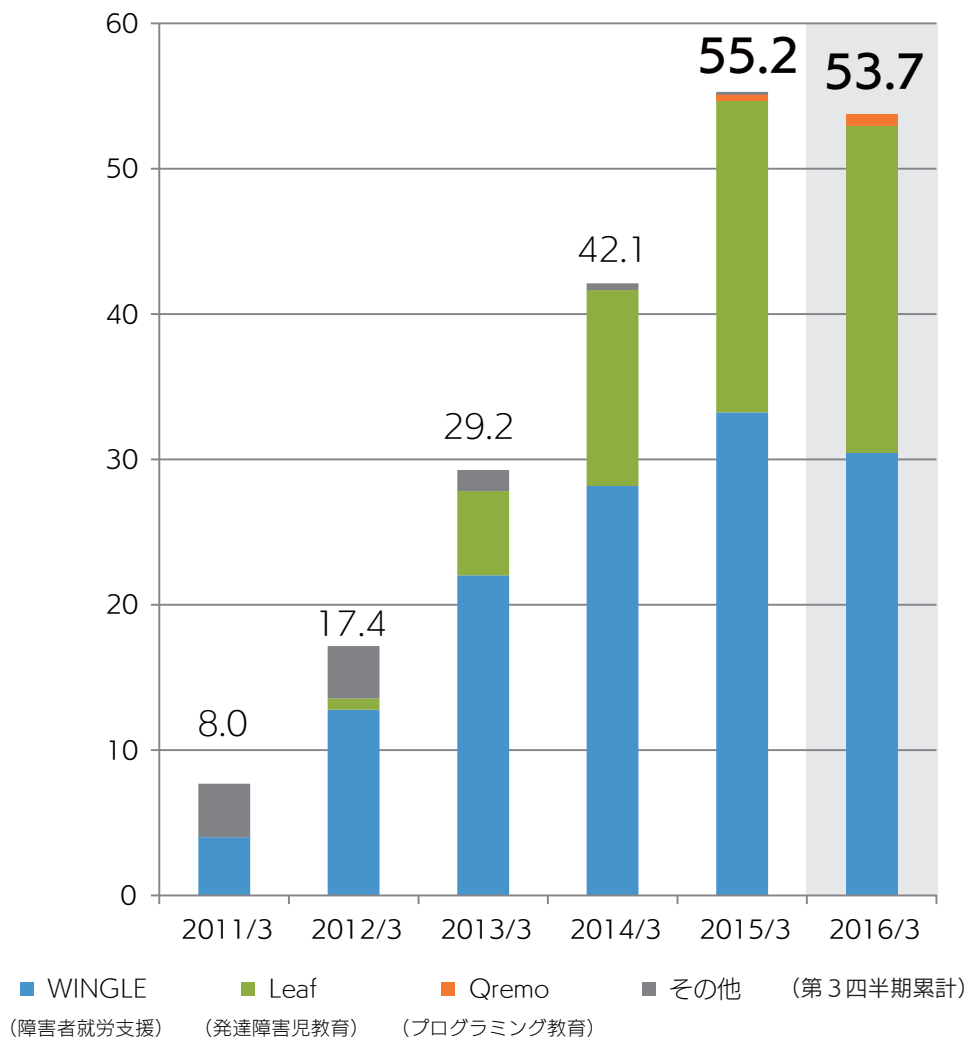
社外取締役 三木 雄信

東京大学卒
三菱地所株式会社を経てソフトバンク株式会社へ入社。
2009年9月に当社社外取締役に就任。



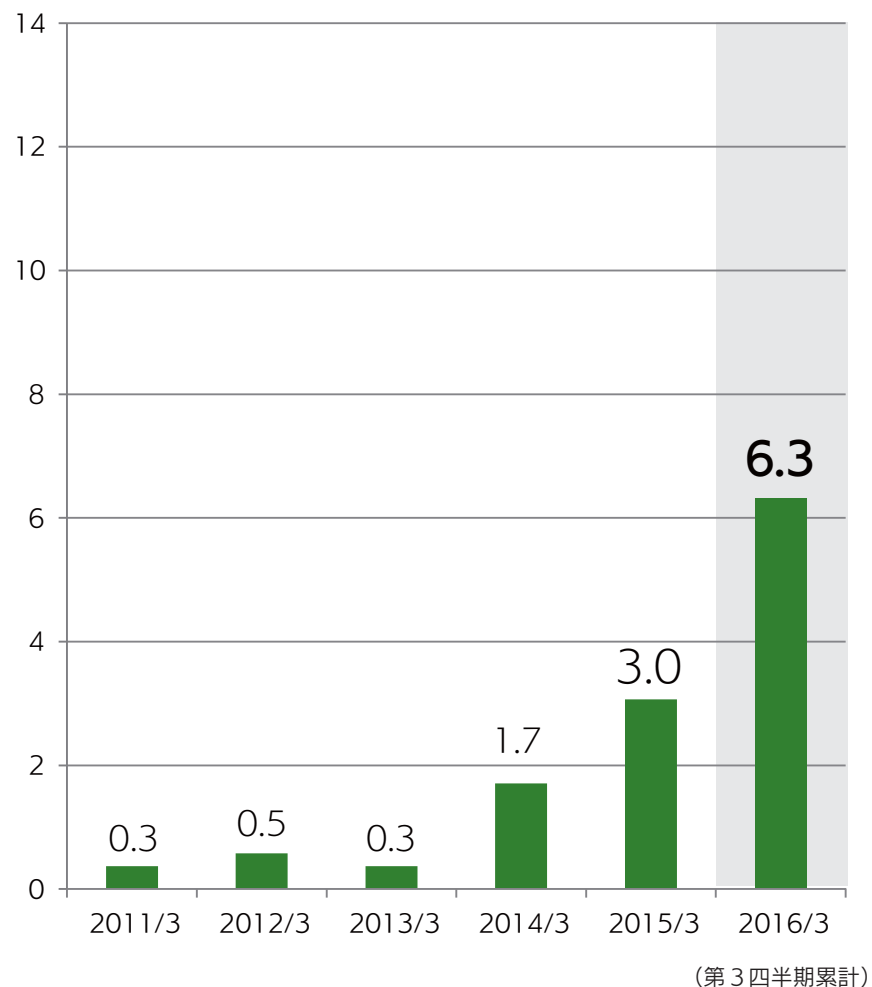
売上高

(単位：億円)



経常利益

(単位：億円)



2. 事業概要

about business

LITALICO のビジョン



障害のない社会をつくる

障害は人ではなく、社会の側にある
社会にある障害をなくしていくことを通して
多様な人が幸せになれる「人」が中心の社会をつくる

障害のある方を中心に幼児期の教育から、就労支援までのワンストップサービス

事業一覧



就労支援サービス「ウイングル」

精神障害など働くことに障害のある方々に対して、ビジネスマナーやPCスキルなどの訓練、就職活動の支援、就職後の職場定着をサポートしています。



幼児教室・学習教室「リーフ」

自閉症やADHDなどを中心とした、子ども一人ひとりの特性に合わせて、学習やソーシャルスキル等の指導を行っています。



IT×ものづくり教室「クレモ」

ゲームやアプリのプログラミング、ロボット制作、3Dプリンター等、最先端のデジタルものづくりでその子の個性を伸ばす教室です。

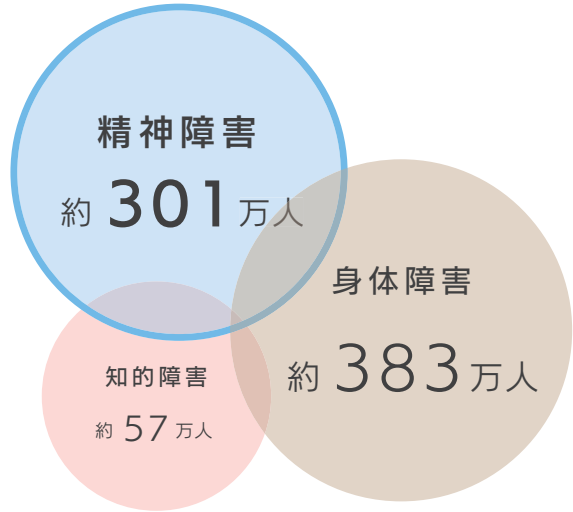


インターネット事業



サービスの主な対象者

[18歳以上]



[0~18歳]



※ 丸内の数字はすべて平成 24 年通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査_文部科学省、平成 27 年度学校基本調査_文部科学省、平成 26 年度特別支援教育資料_文部科学省、平成 26 年版障害者白書_厚生労働省を元に当社試算



障害のある方の就職状況

障害のある方は日本に788万人いると言われています。そのうち、労働可能人口324万人の中で働いている人は約14%に限られ、86%の方は働けていない状況があります。

日本の障害者数 788 万人

※1

うち労働可能人口 324 万人

※1



企業で
働く人

14%

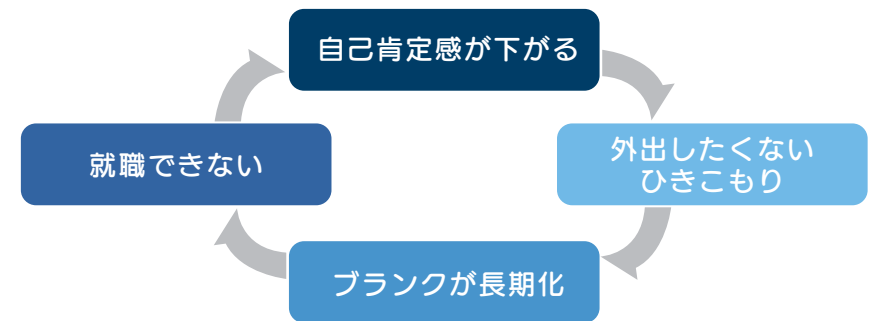
※2

※1 出典：平成 25 年障害者の就労支援対策の状況 _ 厚生労働省

※2 平成 25 年障害者の就労支援対策の状況 _ 厚生労働省 を元に当社試算

障害のある方にとって就労しにくい状況

私たちが考える重要な問題の一つは、働いていない大多数の方が社会と接点のない状態が長期化し悪循環に陥っていることです。就職したくてもできないことで自己肯定感が下がり、誰にも会いたくないという気持ちになり、積極的に外出をしなくなる場合もあります。そして、働くブランクが長期化、ますます就職できない状態に陥り、病状が悪化してる方も少なくありません。



働くことをきっかけにして人生を好循環に

元気だから働けるのではなく、誰かに必要とされている実感を得ることで心が元気になる、心が元気になったことで、もっと良い人生を送りたいという意欲が芽生え、さらに仕事を頑張り、豊かな人生を手にしていく。働くことは、一人ひとりの人生の質を向上させてくれる一つの方法と私たちは考えています。



働くことに障害のある方への就職支援サービス「ウイングル」
「人の役に立つ喜びをすべての人へ届ける」

サービス内容

主に精神障害など働くことに障害のある方々に対して、ビジネスマナーやPCスキルなどの訓練、履歴書作成や面接対策など就職活動の支援を行っています。企業への就職後は面談や職場環境の調整などを行い職場定着をサポートしています。

事業の実績

拠点数 : 53 拠点 (2015年12月時点)
就職者数 : 3,600人 (累計)



●サービスの流れ

①準備ステージ ビジネスマナー／グループワーク等

②実習ステージ 実習で経験を広げ、適正を確認

③就活ステージ 本人の希望にそってマッチング

就職

④継続ステージ 定着面談、職場環境の調整等

●就職の実績

就職後6か月の定着率 86.1%

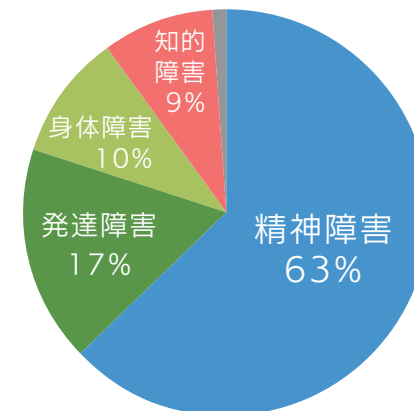
就職先実績 1,000社以上

(一部抜粋・敬称略)

丸善 / ロフト / 良品計画 / イオン / ニチイ学館 / NTT ファシリティーズ / 丸紅オフィスサポート / 日本ハウズイング / タマホーム / アルペン / ソフマップ / 島村楽器 / トランスコスモス / オンワード / ABC キッキングスタジオ

等その他、多数の企業へ就職

●利用者の障害種別の割合



発達に課題がある子どもの状況

文部科学省の調査によると、普通級において学習面または行動面で著しい困難を示す児童は約6.5%とされています。自閉症やADHDなどの診断があり特別支援教育を受けている子どもと合わせると約100万人が特別なニーズをもっていると推計されます。また、なにかしらの理由で学校に通えなくなっている子どもが約12万人います。

発達障害の児童生徒 約 100 万人

※1

全国の不登校児童 約 12 万人

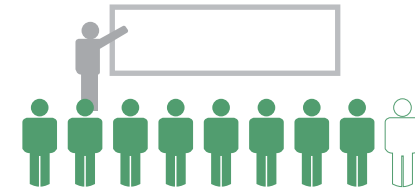
※2

※1 平成 27 年度学校基本調査_文部科学省、平成 26 年度特別支援教育資料_文部科学省および平成 24 年通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査_文部科学省を元に当社試算

※2 出典：平成 27 年度学校基本調査_文部科学省

学校の個別的な教育力の不足

通常学校において、「集団への教育力」は確かな強みである一方で、「個々への教育力」は十分といえず、結果として個別的支援が必要な「発達障害のある子ども」「異才を持つ子ども」「外国人の子ども」たちを中心に、学習やコミュニケーションに困難を抱え、不登校につながることもあります。また、特別支援学校や支援学級・通級を選択する子どもも増えています。



個性を活かした教育、長所を伸ばす教育

学び方は一人一人ちがいます。直感で理解する人もいれば、時間をかけて深い理解に到達する人もいます。言葉で聞くのが得意な子どももいれば、図を見ながら理解するのが得意な子どももいます。どちらが良いわけではなく、学び方にも十人十色の個性があるのです。その子に合った一番の学びを提供することで、ひとりひとりの可能性はさらに高めていけます。そして、短所を補う教育だけでなく、長所を伸ばす教育も重視していくことが子ども一人一人の今と将来の幸せにつながっていくと考えています。



発達に課題がある子でも安心して通える幼児教室・学習教室「リーフ」
「一人ひとりの特性に合わせた教育サービス」

サービス内容

自閉症や ADHD などを中心とした、教育上・生活上何らかの困難さのある子ども一人ひとりの特性に合わせて、学習やソーシャルスキル等の指導を行っています。

事業の実績

拠点数 : 56 拠点 (2015 年 12 月時点)
利用者数 : 約 8,000 人 (2015 年 12 月時点)



●一人ひとりに合わせた指導

- ・ 認知の仕方を分析し、最適な学び方を提供
- ・ 個別の指導計画
- ・ 親御様向けフィードバック



●高い専門性

- ・ 専門性の高い指導員
- ・ 学術的な裏付けに基づく独自開発の教材



●学習面以外の働きかけ

- ・ ソーシャルスキルトレーニング
- ・ 学校との連携
- ・ 運動など特別プログラム





IT×ものづくり教室「クレモ」
「個性を伸ばすデジタルものづくり教室」

サービス内容

ゲームやアプリのプログラミング、ロボット制作、3Dプリンター等、最先端のデジタルものづくりでその子の個性を伸ばす教育を提供しています。

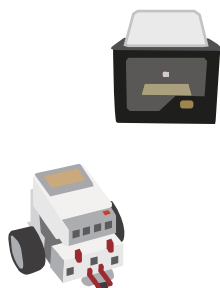
事業の実績

拠点数 : 3 拠点 (2015年12月時点)
利用者数 : 650 名



●コース一覧

- ・ゲーム&アプリプログラミング
- ・ロボットワンダー
- ・ロボットテクニカル
- ・デジタルファブリケーション
- ・WEBデザイン



●Qremo の特徴

- ・遊ぶように学ぶ
- ・自ら考え、作り、伝える力を育む
- ・創造性を刺激する空間



●世界的なプログラミング教育の流れ

【アメリカ】

オバマ大統領は、幼稚園から高校まで児童生徒全員がコンピュータサイエンスのカリキュラムを受けられるよう、州に総額 40 億ドル以上資金を投入するよう要請 (出典: 2016年2月01日 by Megan Rose Dickey)

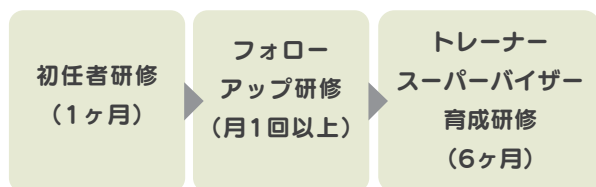
【イギリス】

2014年から5~16歳のプログラミング教育義務化 (出典: 2015年4月15日: 日経ビジネスオンライン)

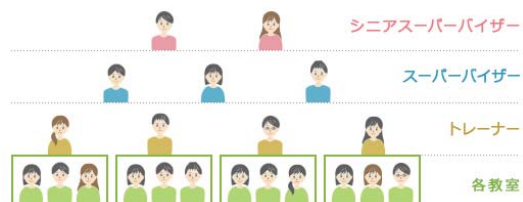
人材育成について

1か月の初任者研修を実施し、その後も全てのスタッフに継続的に研修をおこなっています。また、各教室にトレーナー、スーパーバイザーを配置することで、スーパービジョンが行き届く仕組みを構築しています。

①研修システム



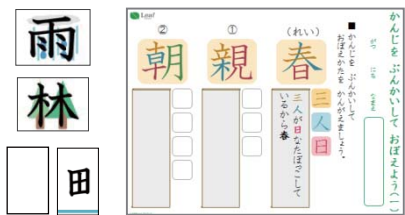
②等級・スーパービジョンの体制



理論と実践を元に教材や教育プログラムを開発

①教材の開発

発達心理学や認知心理学にもとづいて、子ども情報の認知や処理の仕方の特性に合わせた教材を開発しています。



②指導方法・研修プログラムの開発

応用行動分析学（ABA）等をベースとしたアセスメントや指導方法から研修プログラムを作成しています。



品質を支える専門家

社内外の専門家によりアドバイスを受け、理論と実践をつなぐことによりサービス品質の向上に取り組んでいます。



LITALICO 研究所 所長（アドバイザー）
井上 雅彦
鳥取大学大学院 医療系研究科
臨床心理学講座 教授



顧問
田中 康雄
北海道大学 名誉教授
精神科医



主任研究員／執行役員
野口 晃菜
筑波大学大学院 人間総合科学研究科
博士後期課程 在籍中

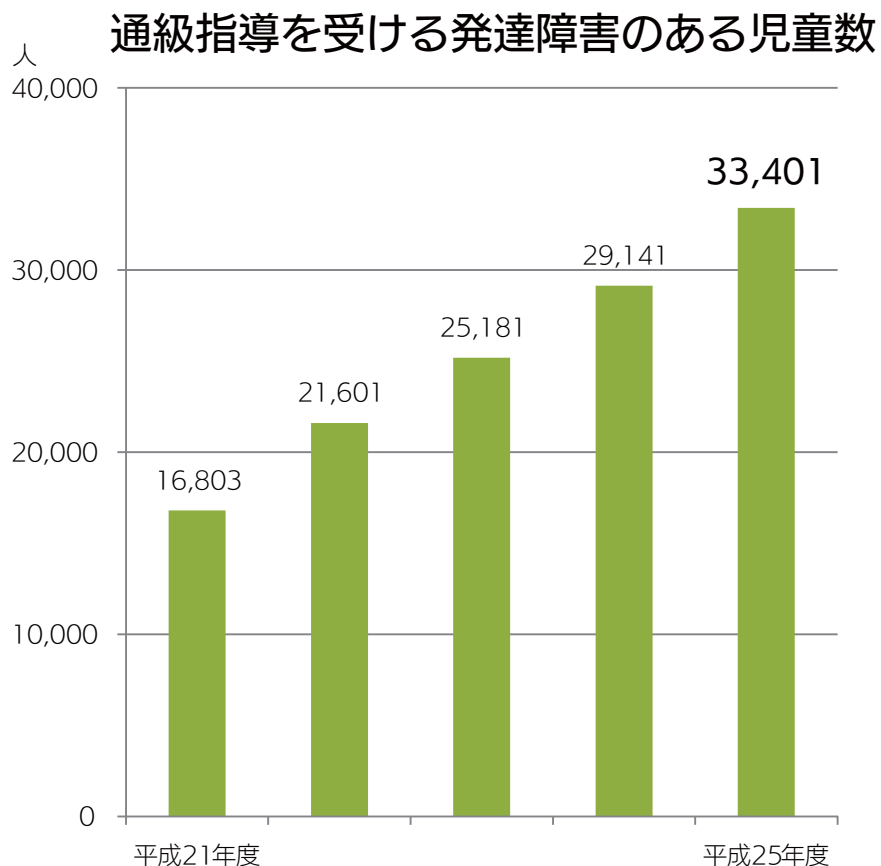
3. 今後の方針

about strategy



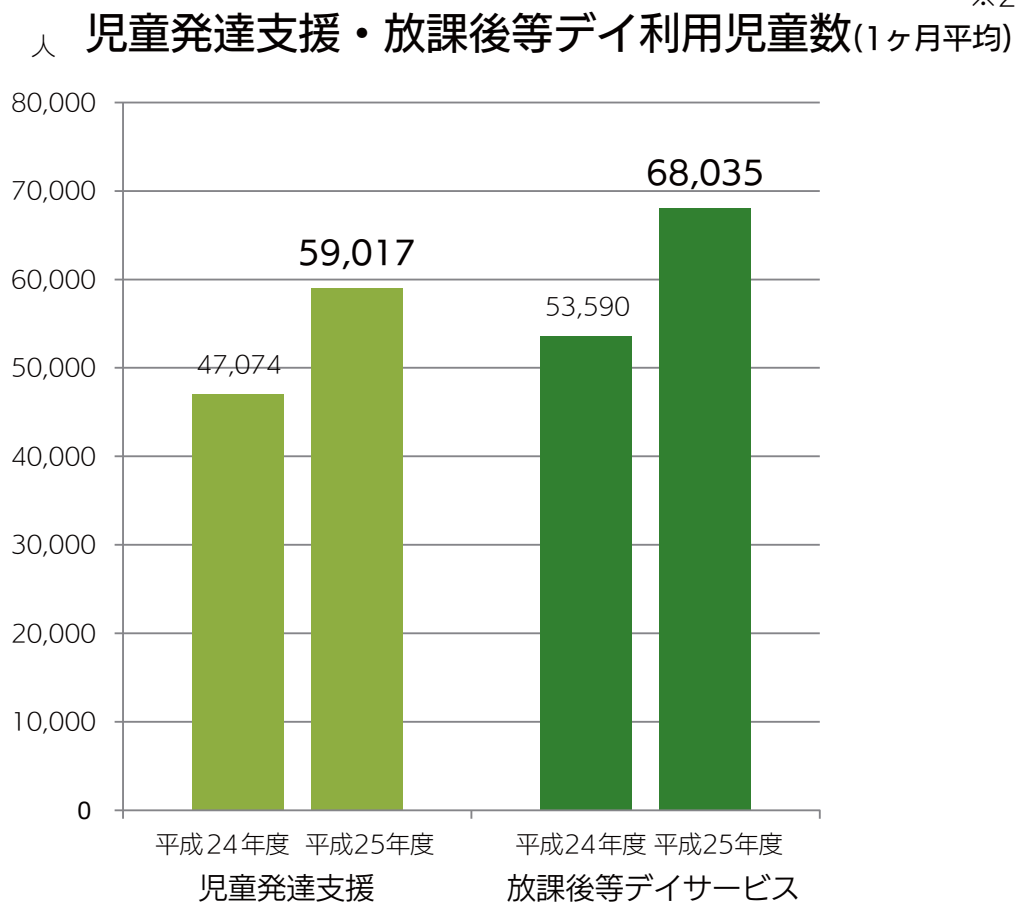
発達障害の社会認知が進んだことで 児童発達支援・放課後等デイサービスを利用する方が増加

※1



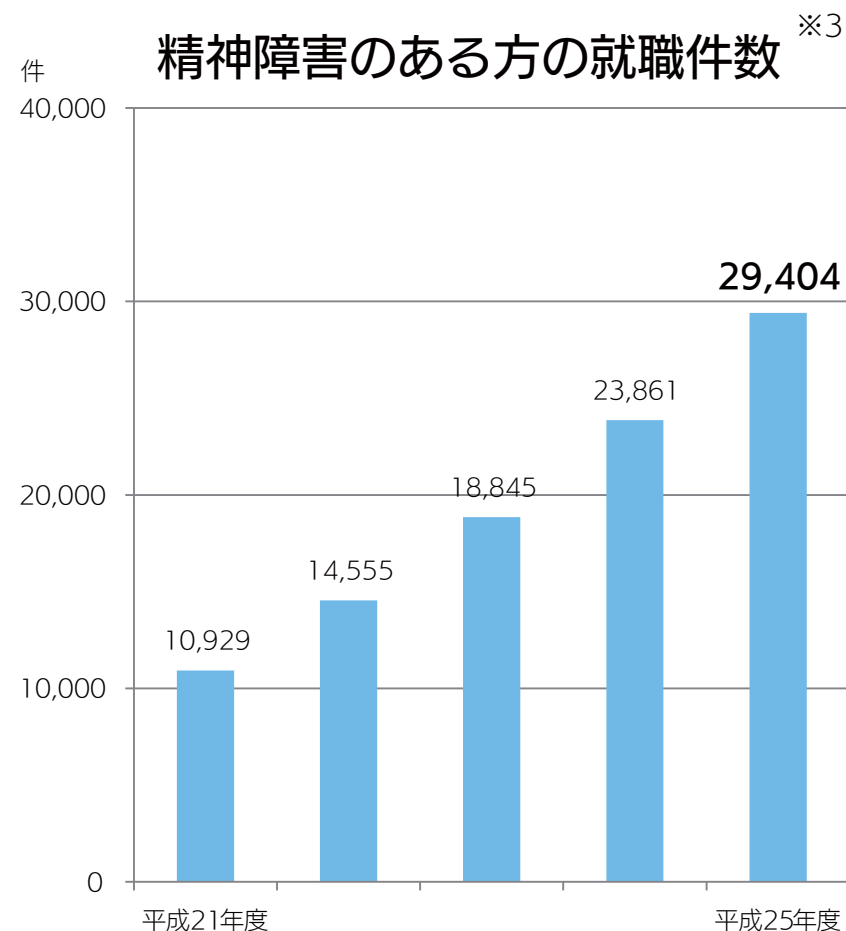
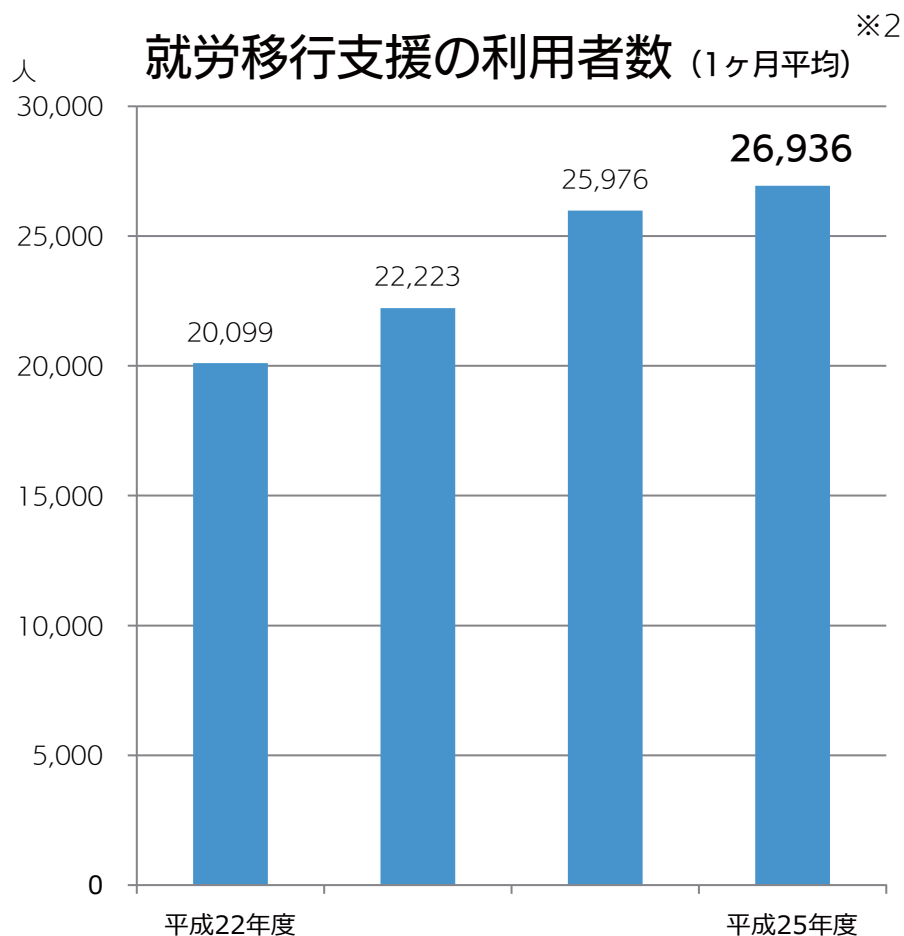
※1 出典：平成25年度通級による指導実施状況調査結果について_ 文部科学省
(特別支援学校、特別支援学級の生徒数は含めていない)

※2



※2 出典：国保連データ

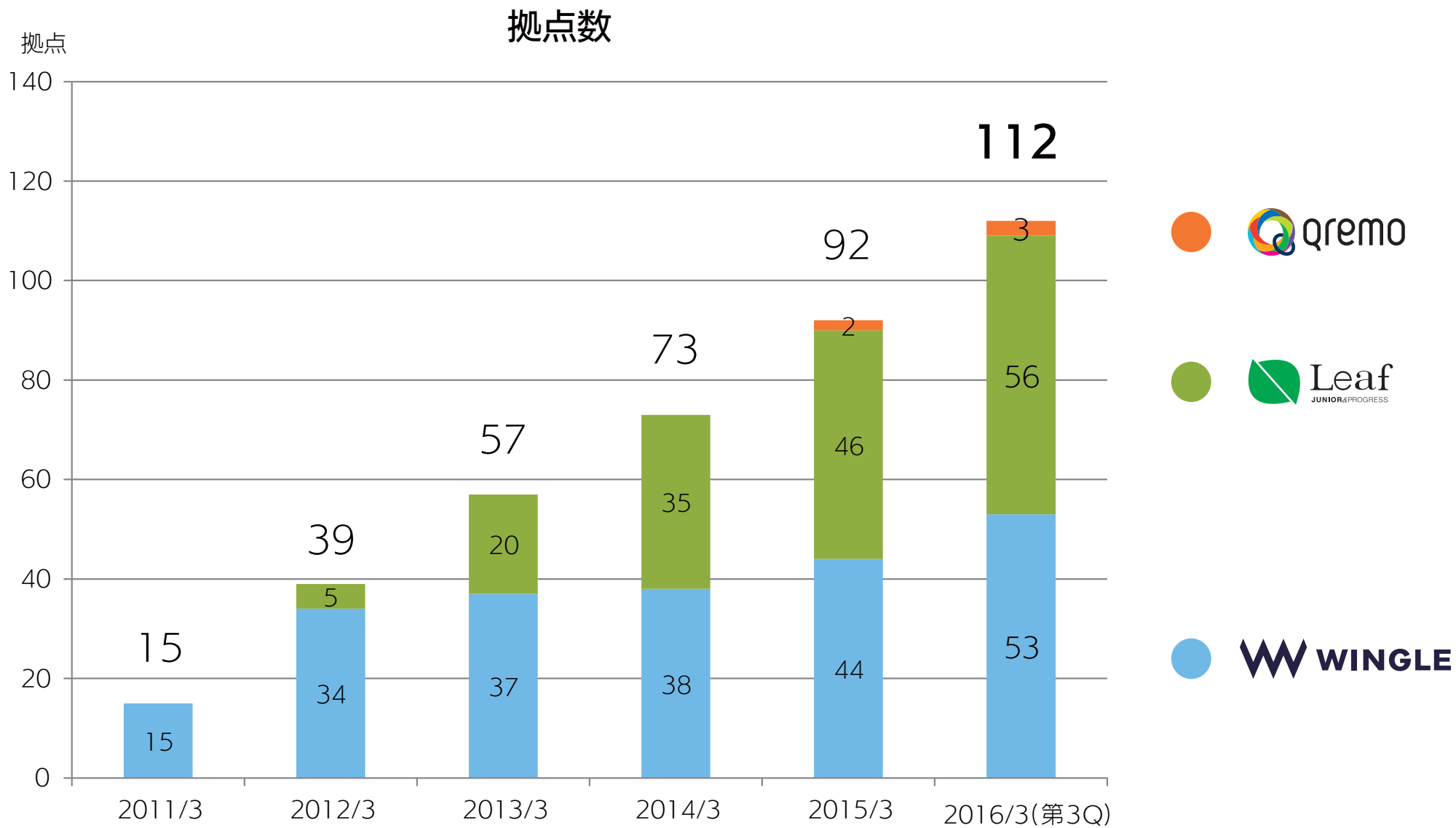
※1
就職を希望する障害のある方が増加、特に精神疾患のある方の就職件数が増加



※1 WINGLEに通所する方の6割が精神障害のある方

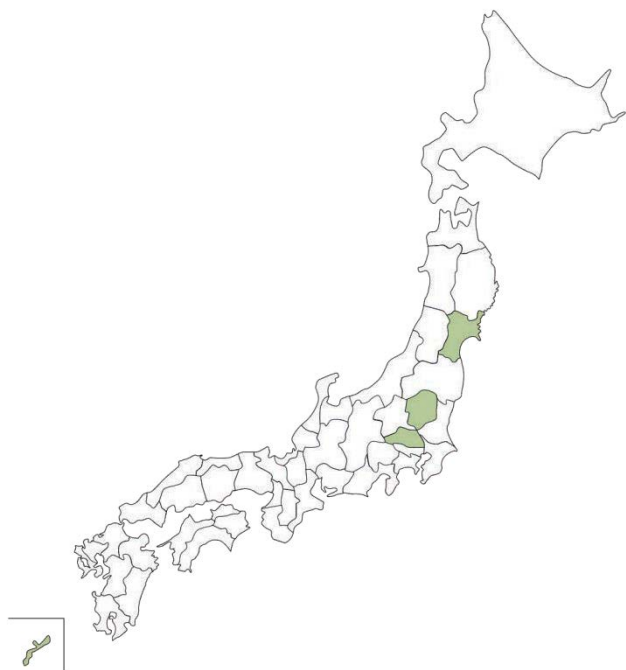
※2 出典：国保連データ

※3 出典：厚生労働省データ



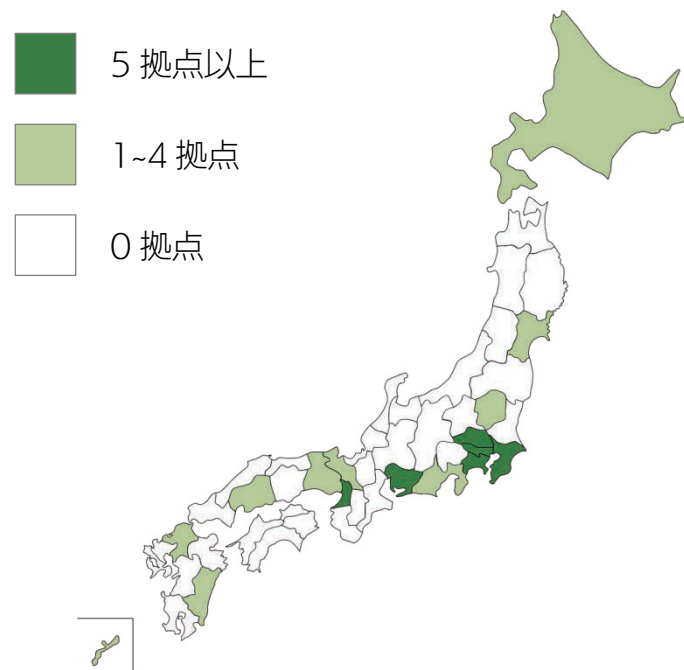
サービスを届ける余地は全国に広がる

2009年3月



6拠点
(4県 / 47都道府県)

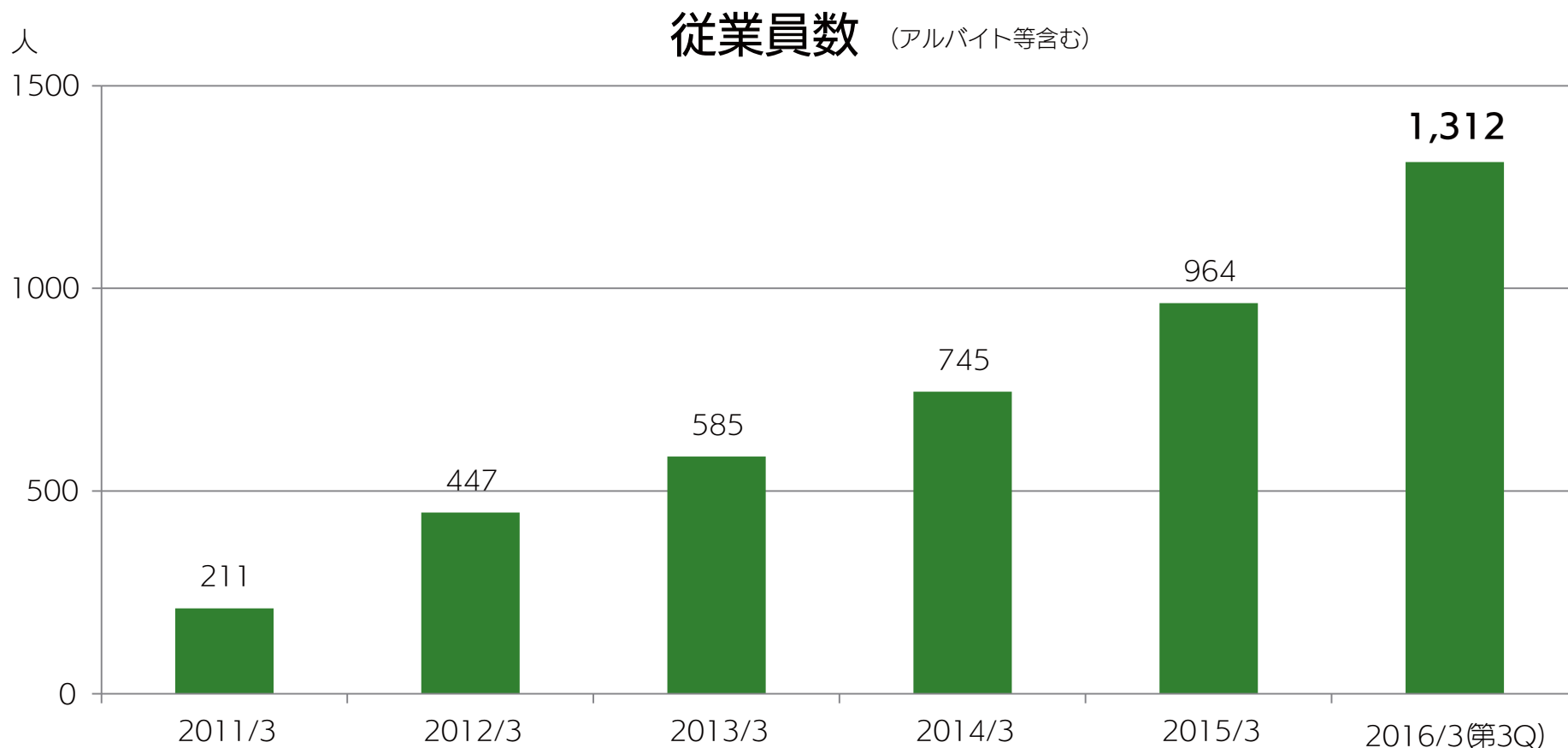
2015年12月



112拠点
(16都道府県 / 47都道府県)

実績に裏付けられた採用力でより多くの方々へサービスを届けていく

- ・年間応募者数2.9万人(新卒: 0.8万人、中途: 2.1万人)、通過率1.2%*
- ・リクナビNEXT「みんなが転職を検討している企業ランキング」1位 (2015年5月20日時点)



※新卒は16年度新卒の採用数値、中途は2015年1月~12月の実績



(就労移行支援)



(児童発達支援・放課後等デイサービス)

[法制度]就労定着の実績を重視する傾向

平成 24 年：就労の定着実績がない事務所への減算の創設

平成 25 年：障害者法定雇用率が 1.8%→2%へ増加

平成 27 年：就労の定着期間に着目した加算の創設

政府、障害者の就業支援を強化 施設職員を 1 割増へ

政府は一億総活躍社会の実現に向けて、障害者の就業を支援する「障害者就業・生活支援センター」の職員を 1 割増やす方針だ。近年は医薬品の進歩などで働く精神障害者が増え、就労後の継続的な支援のための人手が不足している。2016 年度予算で 75 億円規模を充て、全国で約 1000 人いる職員を 100 人超増やすことをめざす。

(平成 27 年 12 月 21 日：日本経済新聞)

[法制度]サービス品質重視の傾向

平成 24 年：障害児の状態に合わせて柔軟な対応が可能に

平成 27 年：児童指導員の配置に対する加算の創設

発達障害を早期発見へ厚労省、地域の小児科医らに研修

障害に対する認識を底上げし、幼少期での早期発見と支援につなげるのが狙い。発達障害の専門医がいる医療機関はまだ少なく患者が集中して長期間の順番待ちという状況もみられる。(平成 28 年 2 月 1 日：日本経済新聞)

安倍内閣総理大臣の教育再生実行会議におけるコメント

不登校や発達障害、家庭の経済力、学力の問題など、子どもたち一人一人の状況にきめ細かく対応した教育について、さらに議論を深めていくことが必要 (平成 27 年 11 月 9 日：NHK NEWS WEB)

情報を求めている人に、インターネットを通じて必要な情報・サービスを届ける



子ども・親向けサービス



成人向けサービス





—— 障害のない社会をつくる

株式会社 LITALICO

〒153-0051 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー 15F

TEL : 03-5704-7355 / FAX: 03-5704-7356

URL: <http://litalico.co.jp>

